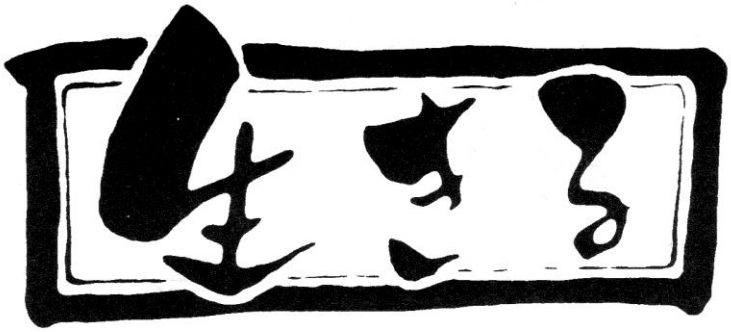
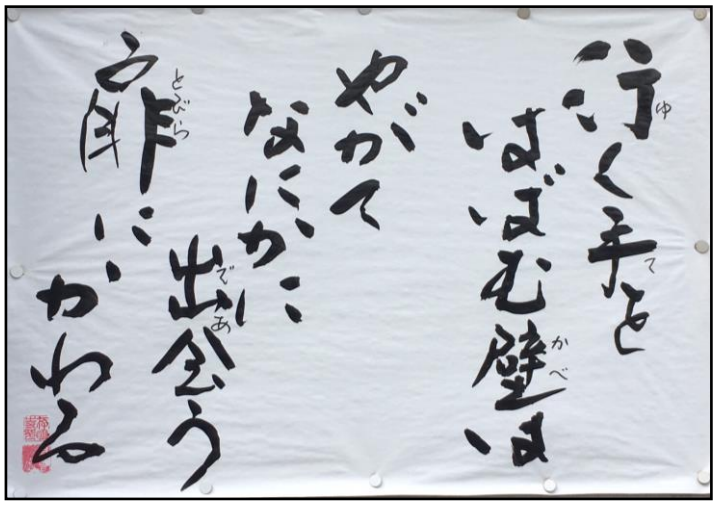


真宗大谷派　存明寺通信

NO.209

2022年(仏歴2553年)９月１日発行



↑街角にある掲示板の言葉（2022年８月）

行く手を　はばむ　壁は
やがて　なにかに　出会う
扉にかわる

人生には様々な壁が立ち現れる。行く手をはばむかのような壁。その壁をなくしていくことが浄土真宗の世界なのではない。

壁は壁として変わることはないが、その壁を前にした私に、教えのひかりがあたれば、行く手を阻むかのように見えた壁は、やがて、人や教えや世界に出会うための扉へとかわる。

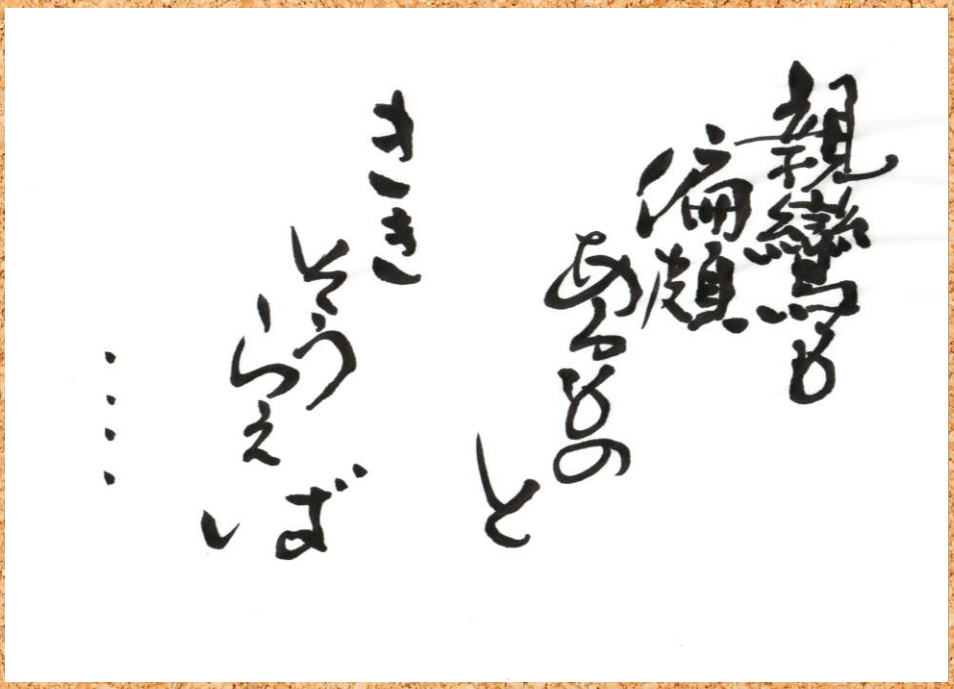
それが親鸞の明らかにした浄土真宗という世界なのではないだろうか。

↓存明寺HP　インスタは右下↓
https://zonmyoji.jp

ZONMYOJI_SAKAI

存明寺ＨＰ　Instagram更新中！ 👆左のHPかQRから。
お寺のこども食堂や諸活動、掲示板の言葉や花手水、法話動画などなど、定期的に更新中。ご覧ください。

親鸞聖人のことば



親鸞も
偏頗あるものと
ききそうらえば…

親鸞　御消息集　575

親鸞聖人は、自らのことを「偏頗あるもの」と告白されている。偏頗とは、かたより、不公平、えこひいきという意味の言葉。多くの人々に慕われていた親鸞聖人が、である。

しかし、親鸞聖人は、偏頗があるから自分はダメだ、仕方がない、と開き直ったのではない。偏頗あるからこそ、兄弟子の聖覚法印の『唯信鈔』、同じく兄弟子の隆寛律師の『後世物語』・『自力他力』のこころに学び、善導大師の二河の譬喩に学ぶのだと語られたのだった。

偏頗あるからこそ、私より先に歩んだ人の生きる姿勢に学び直し、直接出会ってきた兄弟子たちの生きる姿勢に学び直そうとする親鸞聖人。ここに、念仏の僧伽という、大きな流れを信順し、その世界に帰依しようとする親鸞聖人がおられる。

大切にしたいことは、促しを身に受けて、偏頗あるわが身を知らされ、先を歩んだ人々の生きる姿勢に学び直し、念仏の僧伽に帰依するものとなる、ということであろう。

私もそのような道を歩む者でありたい、痛切にそう憶う。

（住職・釋諦信）

住職日記

▼ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続いています。多くの人たちがいのちを奪われ、悲しみが大地を覆っています。

人間は過ちを犯す存在です。その人間の犯す過ちを、仏さまの教えの言葉が照らし出しています。

正義はいつも
戦争の武器となる

戦争の武器はミサイルや戦車などですが、それらを平気で使えてしまう人間の心の中には「正義」という名の武器がある、というのです。今私は正しいことをしているという「正義」があるからこそ、人は残酷なことを平気で行なえてしまえる存在なのです。戦争という現実の中にあって、人間の愚かさを照らし出す仏さまの教えの言葉を、しっかりとかみしめたいと思います。

▼コロナの感染拡大も続いています。我が家では今までに4回、陽性者が出て、それぞれに自宅療養を経験してきました。だからでしょうか、その準備や手順、隔離生活などにも、ずいぶんと慣れてきたようです。どんなに気をつけていても、人は縁が熟せば病気になるものです。その時に大切にしたいことは、病人を嫌ったり、遠くに追いやったりすることではなく、病気のことを隠さないでもいい関係性を開くということではないでしょうか。病気のことを語り合ったり、情報を交換したり、辛さを共有することなのだと感じています。そして、お互いに励まし合い、助け合って生きていく関係性こそを大切にしていきたいと思っています。それがコロナから問いかけられた、人類への隠れたメッセージなのかもしれません。

▼最近のお寺のご法事事情ですが、十人前後の規模でご法事をされる方が増えています。お寺では感染防止を徹底しています。検温・手指の消毒・マスク着用・距離の確保、換気などです。また、お寺でお食事をされる方もおられます。その際は、部屋を広く使って距離の確保をしたり、アクリル板を設置したりしています。感染対策を徹底しつつ、どうぞお寺をご利用ください。

▼安倍元首相が銃撃されました。痛ましいことです。暴力を許すことはできません。だから、その行為には強く抗議をします。その上でですが、当初は「暴力には屈しない」「民主主義への挑戦だ」などとして「国葬」を行うことになりましたが、その後、旧統一教会とのつながりが問題となってきました。その団体によって被害を受けた方々の存在も明らかになってきました。国を挙げて葬儀を行うことよりも、なぜ事件が起きたのか、その背景にある真相を明らかにしていくべきなのではないでしょうか。また、森友・加計問題や桜を見る会など、元首相が残した闇とでもいうべき課題も忘れてはならないことです。そのような不透明なことが二度と起きない国になっていくこと。その実践こそが安倍元首相への真の供養となるのではないでしょうか。

▼お寺からのご報告です。長男酒井大樹は、京都での勉学を終え、この春より存明寺で働いておりますが、このたび入籍をさせていただきました。お相手は墨田区出身の瑠美さんです。コロナの感染拡大を考慮して、8月に結納・入籍をいたしました。近い将来に仏前結婚式と披露宴を行う予定でおります。ご門徒の皆さまへは、来る11月3日の存明寺報恩講にてご挨拶させていただきます。若い未熟な二人ですが、皆さまからのお育てを頂きますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

お寺のひろば　２０２２年（令和４年）

9月6日（火）14時　真宗聖典輪読会
内容：輪読・座談会・コーヒータイム
9月10日（土）14時　樹心（じゅしん）の会
お話：伊藤高春さん＆酒井義一住職
内容：勤行・お話・語り合い・全体会
9月16日（金）13時　おそうじの日
内容：掃き掃除・草むしりなど
9月23日（金） 11時と13時　秋のお彼岸（ひがん）法要
内容：正信偈唱和・お話（門徒有志と住職）
10月1日（土）14時　グリーフケアのつどい
事前申し込み制です。
10月4日（火）14時　真宗聖典輪読会
10月15日（土）14時　樹心（じゅしん）の会
お話：末次皓子さん＆酒井義一住職
10月28日（金）10時　おみがきのつどい
11月**3日（木）10時**　報恩講（ほうおんこう）法要
お話：白山勝久さん・酒井義一住職
内容：法要・法話・長男入籍報告
11月12日（土）14時　樹心（じゅしん）の会
お話：城ノ下恭博さん＆酒井義一住職
11月15日（火）14時　真宗聖典輪読会
12月6日（火）14時　真宗聖典輪読会
12月10日（土）14時　樹心（じゅしん）の会
お話：三好浩一さん・酒井義一住職
12月17日（土）14時　グリーフケアのつどい
1月1日（日） 10時　修正（しゅしょうえ）会
オンライン Zoom にて参加することも可です。

親鸞と出遇う旅　申込受付中

慶讃法要（きょうさんほうよう）へ　案内文あります

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年
立教開宗八百年慶讃法要へ

日時　2023年（令和5年）
4月21日（金）～22日（土）
日程　①東京～大阪・難波別院法話
～夕食～ホテル泊
②大阪～京都・東本願寺法要
参拝～現地解散
宿泊　大阪エクセルホテル東急
費用　40，000円
※帰りの交通費は含みません

新米僧侶：大樹（釋諦樹）企画

真宗聖典輪読会（しんしゅうせいてんりんどくかい）

日時　9月6日（火）
10月4日（火）いずれも
11月15日（火）14時～
12月6日（火）16時
内容　真宗聖典の輪読会
コーヒータイム・座談会
会費　500円（茶菓子の点心付き）

【あとがき】
▼コロナ3年目の夏が終わろうとしています。初の行動制限のなかった夏でしたが、感染者数は2万人以上の多さ。気分的にのんびりと羽根を伸ばせないような夏でした。▼窮屈さはまだしばらくは続きそうですが、この状況もまた私たちの二度とない人生の事実なので、その状況を大事に体験しながら、生き抜いていく所存です。▼お寺の活動は中止にはせず、継続します。感染対策の上、どうぞご参加下さい。

存明寺の行事に ZOOM で参加する
下の URL か QR コードからどうぞ。
https://qr.paps.jp/f5dAo
ミーティング ID:
825 5429 2676
パスコード: 461458

東京都世田谷区北烏山4-15-1
真宗大谷派　存明寺
住職　酒井　義一（釋諦信）
〒157-0061　TEL 03-3300-5057
FAX 03-3300-5880